

# AHC-10M

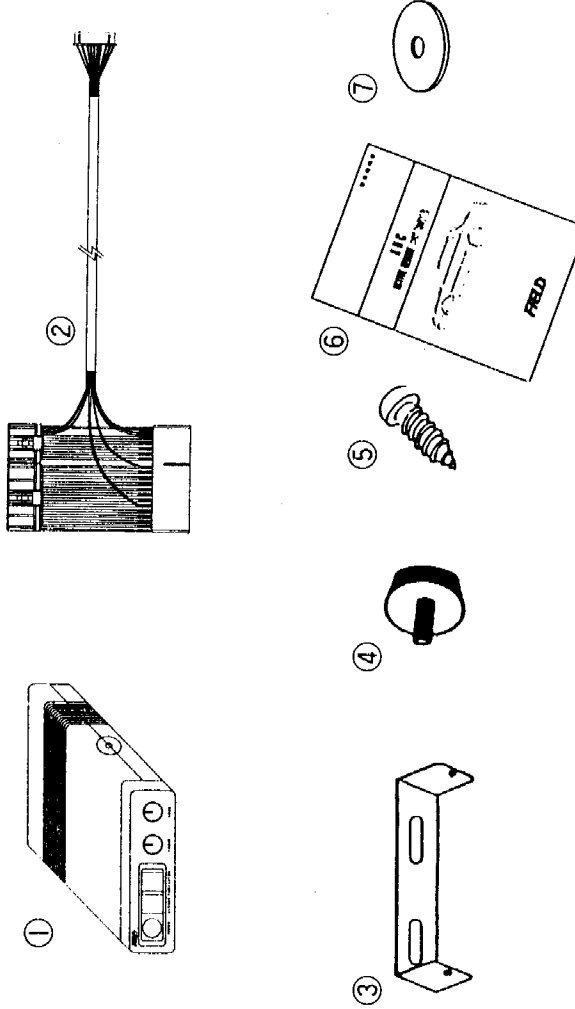
## ACTIVE HEIGHT CONTROLLER

### 【取扱説明書】

この度はACTIVE HEIGHT CONTROLLER (以下AHC-10M) をお買い求め頂きましてありがとうございます。本製品は精密機器ですので、お取扱に際しては十分注意して下さい。

このAHCは、セルシオのエアサス仕様車に取付、フロント10段階リア10段階に前後独立調整することが出来ます。

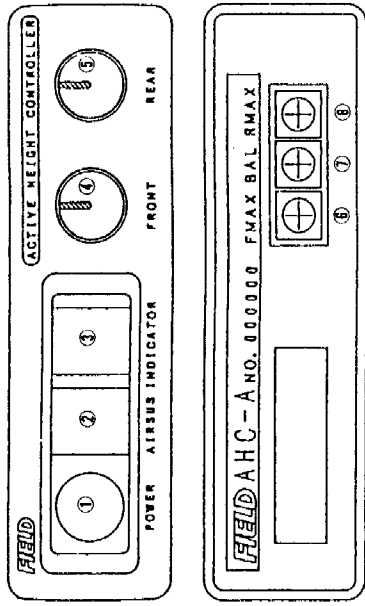
### 〈パーツリスト〉



No.	パーツ名	ロット	No.	パーツ名	ロット
①	AHC 本体	1	⑤	ステア専用タッピング	2
②	AHC 専用ハーネス	1	⑥	取扱説明書・製品保証書	1
③	AHC 取付ステー	1	⑦	ケースラバー	2
④	コントロールユニット用ネジ	2			

# AHC-10M

## 〈コントロール部説明〉



① パワースイッチ  
パワースイッチONでエアサス インジケータが点灯し、車高調整スイッチにより車高調整が可能になります。パワースイッチOFFで強制的にノーマルに復帰します。

② フロントエアサス インジケータ  
※パワースイッチをONにすると点灯します。(H, 0~8 を表示)

③ リアエアサス インジケータ  
※パワースイッチをONにすると点灯します。(H, 0~8 を表示)

④ フロント10段階車高スイッチ  
フロントエアサスインジケータと連動し、Hの表示で車高HIGH、0でノーマル、1~8で車高をLOWに調整します。

H 0 1 2 3 4 5 6 7 8  
HIGH ノーマル ← LOW →

⑤ リア10段階車高調整スイッチ  
リアサスインジケータと連動し、Hの表示で車高HIGH、0でノーマル、1~8で車高をLOWに調整します。

H 0 1 2 3 4 5 6 7 8  
HIGH ノーマル ← LOW →

⑥ フロントMAX調整ボリューム  
フロント側、ローモード選択時 (1-8) の下げ幅の調整が出来ます。  
\* 右回転-LOW、左回転-UP

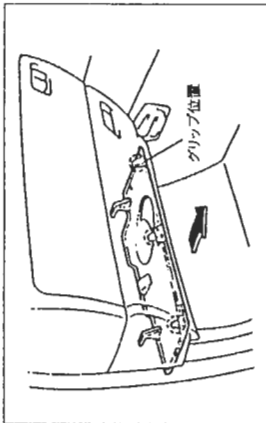
⑦ 左右微調整ボリューム  
フロント側の左右バランスの調整が出来ます。  
\* 右回転-右下がり、左回転-左下がり

⑧ フロントMAX調整ボリューム  
フロント側、ローモード選択時 (1-8) の下げ幅の調整が出来ます。  
\* 右回転-LOW、左回転-UP

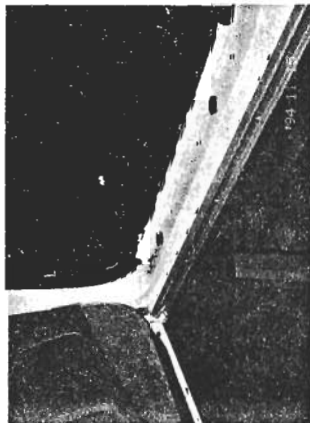
## 〈取付方法〉

### 【取付前の注意】

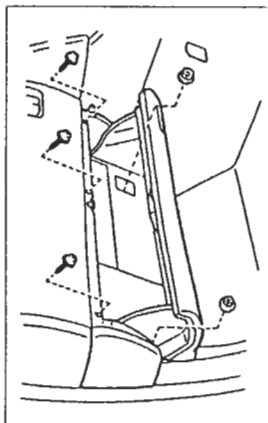
☆エンジンを切りバッテリーのマイナスイナス端子を外して下さい。この作業を怠りますと故障、誤動作の原因になります。



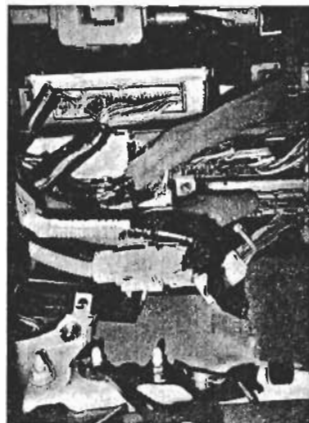
①インストルメントパネルアンダーカバーを取り外します。  
クリップのかん合を外し、手前にずらしてカバーを外します。



②フロントドアスキャッププレートをくりっぷのかん合を外し上に持ち上げるようにして取り外します。



③グローブボックスを固定しているネジとナット2本を外します。  
次にクリップ(3ヶ所)のかん合を外しグローブボックスをゆらしながら外しますとエアサスコンピュータがあります。  
(エンジンコンピュータの右隣にエアサスコンピュータがあります)  
26ピンと16ピンのコネクタを引き抜きます。



引き抜いたコネクタをAHCのハーネスに接続して、もう片側をエアサスコンピュータに差し込みます。  
注意) コネクタがきちんと差し込まれているか確認して下さい。  
きちんと差し込まれていないと正常に動作しません。

### ④ 本体を固定する前に動作確認を行って下さい。

- 1) AHC-10M本体とAHC-10Mハーネスを接続して下さい。
- 2) 接続終了後バッテリーのマイナスイナス端子を接続して、エンジンを始動して下さい。AHC-10Mに電源がきているか確認して下さい。(バックライト、パワーLEDが点灯します)
- 3) 段差等がない平坦な場所ではギアをパーキングに入れて、サイドブレーキを解除しNORMAL/LOW切替スイッチをONにして下さい。
- 4) 確実に車高を安定させる為にトリップメーターで1km位走行してから車高が下がっているか確認して下さい。

⑤ 外した所を元に戻し、本体を直射日光やヒーターの吹き出し口を避け、適当な場所にしっかりと固定して取付終了です。

## 【ご注意】

- ☆常時高速走行を行う時（高速道路等）はノーマルモードで走行して下さい。
- ☆本体を固定する際にスリット部分をふさがないようにして下さい。
- ☆高温または低温の所に放置しないで下さい。  
窓を閉め切った車内、直射日光の当たる場所などに長時間放置すると故障や変形の原因になります。
- ☆コネクターが確実に接続されていないと誤作動の原因になります。
- ☆ハーネス部分等を無理に引っ張ったり、圧迫したりすると接続不良の原因になりますので丁寧にお取り扱い下さい。
- ☆車高LOWの状態で行中、段差・急な坂道・わだちなどで車体下部をこすることがありますので十分注意して下さい。
- ☆本製品のご使用によるシャシー、タイヤ、ボディー等の破損につきましては一切の責任を追いかねますのであらかじめご了承下さい。
- ☆車高姿勢制御が遅いときは、数キロメートル走行するか、サイドブレーキを解除しギアを、NかPレンジにしてドアを数回開閉しますと制御が早くなります。
- ☆車高を極端に下げたまま長時間使用すると、エアサスペンションに負担をかけるので、ご注意下さい。
- ☆本製品はノーマル車両ベースで設計されておりますので、タイヤ等のインチUPワイドサイズにされた場合の故障等については一切保証いたしません。
- ☆外気温度の変化により車高が若干変化する場合があります。
- ☆車高LOWの状態、車高が傾く時がありますが故障ではありません。  
(ノーマルエアサスの機能で1名で運転中ドライバーが降車後、運転席側の前後の車高を1~2cm上げることがあります。又、乗車人数により助手席側が上がることもありますが走行中は正常な姿勢になります。)

メモ

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

3/3  
AHC-10M